

皆様、明けましておめでとうございます。今年の正月は暖かく穏やかな日々でした。今年一年、正月の天気のような平穏無事の一年であって欲しいですね。



ところで、今年の干支は酉です。鳥・酉=取り・摂り・採り・撮り・捕り・執り獲り・獲り・漢字に変換してみると凄く縁起が良くなるような言葉が多くあります。

このような縁起のよい年に、分院が今村総合病院に生まれ変わり、慈愛会は大きく羽ばたく一年になりそうです。

また、視点を変えるフレームワーク思考に『鳥の目・虫の目・魚の目』という言葉があります。マネジメントを進めるためには、どの目も大事ですが、特に『鳥の目』は大事です。

つまり、俯瞰してみる目です。自部署のことばかりでなく、病院全体ではどうか、慈愛会全体ではどうか、他の病院はどうか、など鳥のように高いところから広く慈愛会を見て、問題の本質を見抜いていく力が大事です。

慈愛会看護部は、昨年末から、患者記録イノベーション検討会を始めました。リアルタイム記録とチーム医療となる患者記録をすること。そして、記録による超過勤務を限りなく0にすることを目指しております。

電子カルテシステムの先取り(鳥)の手法を取り込み、進めていきたいと思っております。そのためには、現場の看護師さんの力が必要です。超過勤務を無くし、自分の時間を大切に使えるような、ワークライフバランス良好の慈愛会にしていきたいと思います。改善ではなく改革です。今年もよろしくお願い致します。



看護部支援室 統括看護部長 中重敬子



第2回臨地実習指導者・教員合同研修

平成28年10月22日(土)に第2回臨地実習指導者・教員合同研修を実施しました。今回は69名が受講者しました。

講義①は国立病院機構鹿児島医療センターから集中認定看護師の田代祐子先生をお招きして、脳・神経：意識障害患者のフィジカルアセスメント～効果的な学生指導を学ぶ～について学びました。



講義②は糸賀暢子先生による「看護過程の記録に頼らない臨地実習教育～真の看護実践力を育てるかかわりとは～」の講演会を終えて、鹿中看の大保副校長先生とともに、臨地実習指導を考える内容でした。



他にも、4月の第1回研修後、学生にフィジカルアセスメントを学習させるために工夫してきた取組みを各院発表しました。実習生を受け入れる体制をどう整えていけば良いか具体的に学ぶことができた、前向きな感想を得られた、充実した研修となりました。

看護記録についての研修

平成28年11月4日(金)に、東京大学 大学院 特任教授 水流聡子先生をお招きして、看護記録についての研修を実施しました。

『看護記録を効率よく、質を保ちながら簡素化できる方向性について示唆を得る』ことをねらいに、看護部長他看護師、教員、医療情報関係者、事務職の方まで、幅広い職種の方を対象とし、計71名が受講しました。



『良質の看護計画と看護記録～後利用できる看護記録とするために～』をテーマに、臨床看護知識の可視化・構造化・標準化・ICT化による質マネジメントを考えました。

受講生から、「看護記録の可視化、標準化の必要性を感じた」「ICT化されることで、パス、計画、記録がすべて連動でき、改善も期待できる。ぜひ導入して改善していきたい」といった声が聞かれました。今回の研修で、現在の課題と、今後取り組むべき具体的な課題が見えたと感じました。



☆☆☆ 各病院 トピックス ☆☆☆

今村病院 リンパ浮腫療法士誕生!

今村病院の緩和ケア病棟の今井朋子です。浮腫で困っている患者さんに何かお手伝いが出来ないかと思い、今回リンパ療法士の資格を取得しました。

糖尿病などによる血栓症の患者さんへの弾性ストッキングの装着や指導、浮腫のある患者さんへリンパドレナージや弾性ストッキングの装着、運動療法など行っています。

浮腫により歩行困難や立位困難な患者さんの歩きたい、立ちたいという目標に対して、まず靴が履けるよう患者さんと一緒にスキンケア、リンパドレナージ、弾性着衣の装着、運動療法を行い、その結果靴が履けるようになったり、立位が出来るようになった時は、とても嬉しくやりがいを感じています。

浮腫によるボディイメージの変化に対する精神的援助を行いながら、これからも患者さんのお役に立てていけたらと思います。まだまだこれからですが、どうぞよろしくお願い致します。

リンパ浮腫療法士 (Lymphedema Therapist : LT) 医療従事者として、複合的理学療法を中心にリンパ浮腫の診療に従事するに必要な、専門知識・技術水準をもった専門家



谷山病院 WLB活動の取り組み

厚生労働省が運営している「働き方・休み方改善ポータルサイト」に谷山病院のWLB活動の事例が紹介された。当サイトは「自社員の働き方・休み方の見直しや改善に役立つ情報を提供する目的であり、県内の医療福祉界では谷山病院が初めての登録となった。当院の推進委員は、看護部だけではなく、医事課・栄養士・作業療法士・精神保健福祉士など多職種から構成され、組織横断的な活動を行っている。総務担当の負担軽減などのため、産休・育休経験者の委員が育児支援プログラムの「かんがるーBOOK」を作成。11月の看護協会ワークショップでは、このカンガルーBOOKが好評であり、問い合わせが数件あった。

Advertisement for 'カンガルーBOOK' (Kangaroo Book) by the WLB Promotion Committee of Tanigami Hospital. It features a kangaroo mascot and a table with details about the book's content and availability.

看護管理者任用候補者選考における研修

本年度も、平成28年11月16日(水)～11月19日(土)に、看護管理者任用候補者選考における研修が実施されました。

36名の受講生が3.5日にわたって講義・グループワークを行い、研修後には筆記試験と面接を受けるといった内容の研修でした。

慈愛会に所属する看護部、事務部の方々に講師となっただき、管理職に就くにあたって必要な知識、心構え等を学びました。今回得られたたくさんの学びを日々の看護に生かし、素晴らしい管理職となって活躍されることを期待しています。



受講証授与の様子



受講風景



今村理事長 講義



中重統括看護部長 講義



グループワークの様子 発表の様子



【テキスト作成にご協力いただいた講師の方々】

- 今村理事長 中重統括看護部長 久徳看護部長 数下看護部長 中園看護部長 原口看護介護部長 稲本副看護介護部長 北原副看護部長 上原副看護部長 今村副看護部長 西村教育担当師長 太田所長 堀事務長補佐 新村主任 福留副主任 森山主任 岡村課長代理 長田主任 (※順不同)

